



昨年度、全5回でお届けした出身者インタビュー。好評だったため、今年度から定期的にお届けします。

特集：出身者インタビュー企画 西ノ島で育ちました

浦郷地区出身

たかみや けいじ

高宮 慶治 さん 1976年3月生まれ。大阪・北新地で「旬菜・すし処 慶鮎^{けいすし}」を営む。



Q. 進学先や就職先を選ぶ際に大切だと思うことは何ですか。

A. 自分の目標に合った道に進むことです。

Q. 高校時代、寮生活が寂しいと感じることはありませんでしたか。

A. 寂しいと思った事はないです。色んな土地から来た友達もいましたので。

Q. 料理をする上で一番重要なことは何ですか。

A. 変わらない味を出すことと、その時々々の素材に合った味付けにすること、そのどちらもです。

子どもの頃の夢「料理人になりたい」… 今、大阪で寿司店を営んでいます

――西ノ島での思い出

西ノ島には中学生までいました。島での思い出は浦郷地区のお祭りやシャラ船、神の相撲、十方拝礼などの独自の行事などですかね。島の好きなところは島の人たちの人柄や、「みんな仲間」という意識があるところ。場所では摩天崖が好きですね、小さい頃から遠足などでも訪れていましたし。

――高校を卒業後、寿司職人の道へ

高校は隠岐の島町の隠岐水産高校に進学し、寮生活をしていました。卒業後は料理人になりたいという思いがあり、フレンチと迷った時もあったのですが、色々考えた末に寿司店を展開する会社に入り、大阪の店舗で働くようになりました。

そして10年前の37歳の時に独立し、大阪北新地で自分の店を開きました。この場所を選んだのは、大阪の店舗で長く働く中で店長にもなり、お客様もついてくれるようになっていたからです。

仕事の日には市場で仕入れなどをして、昼過ぎまでにはしゃりなどの仕込みを終わらせます。開店の18時までに準備を終え、22時まで営業をしています。



旬の素材をつかったにぎり寿司

お店の休みは日曜日と祭日で、よくゴルフや散歩をして過ごすことが多いですね。

コロナ禍で中々帰れていなかったのですが、今年のGWには久しぶりに西ノ島に帰省しました。摩天崖に行ったり、小学校時代の同級生や先輩とBBQをしました。



今年のGWに帰省。摩天崖を愛犬エビスと散歩しました！

――仕事への思い

子どもの頃から「料理人になりたい」と思っていて、会社に入る前から「料理人になるからには自分の店を持ちたい」と考えていました。これからの目標は、今のお店を20年、30年…と継続させることです。

「お客様が第一」という考えを大切にしていますので、お客様からの反応がやりがいになっています。「お出汁はどうやっているのか、味付けや工程を教えてください」などの声を頂くと嬉しいです。「好きなことをやっている」と思うので、仕事が大変だとは思わないようにしています。



note
記事の全編はこちら



Instagram
島の皆さんの写真ははこちら

こんにちは、島留学生の露木桃子です。

昨年度から始まった、西ノ島町のみなさんへのインタビュー企画「Humans of Nishinoshima」。今年度も引き続き、西ノ島町のみなさんのお仕事・プライベートなどのお話をお聞きます！



シェアハウスメンバーと。
紫陽花が綺麗でした！
(中央：露木)



おのしおりさん 東京都出身
「大人の島留学」制度で
今年4月から西ノ島で生活中

島での生活を満喫中

詩織さんは今年の1月から3ヶ月間「島体験生」として過ごし、更に4月からは令和5年度「島留学生」として、西ノ島で暮らしています。

「実家を離れ働きながら暮らす経験」を大学卒業の前にしたかったという自分の希望が叶う環境だったので、島体験・島留学への参加を決めるのに躊躇はほとんどなかったとか。

仕事では、西ノ島町役場の企画財政課で、西ノ島チャンネルの「わがとこにゆうす」などを担当しています。動画制作は未経験ですが、独学で勉強して進めています。

私生活では、島での生活を満喫しているとのこと。「島に来てからゲームやネットをする時間が減り、規則正しい生活を送るようになりましたね。

身の回りのことも全てきちんと自分で行き、お弁当も含め料理もするようになりました。また、他人との比較ではなく、自分にフォーカスを当てて過ごせるようになりました。夏になったらライセンスを持っているので、ダイビングもしたいです！」と話してくれました。

西ノ島町観光協会 長谷川 良菜

あたたかくなり、いきものによく出会います！

こんにちは。地域おこし協力隊の長谷川です。

最近は気持ちのよい日を過ごしています。天气が良いと気分もあがり、フットワークも軽くなりますね。仕事終わりに散歩をすると可愛い野良猫によく出会えます。ほとんど飼い猫のようになっているらしく、人懐っこく触らせてくれます。バス停の中には鳥が潜んでいました。(ツバメ?)



▲バス停の時計の上で休憩中？

私が勤務している観光協会では4年ぶりに外国からの客船が来たり、去年に引き続きツーデーウォークのイベントがあったりとにぎわっています。マスクの着用も自由になり観光客の方が窓口で声をかけてくださることが増えたように思います。特に国賀の景色に感激しているお客様が多く、「絶景だった！」「馬に癒されました！」などの感想を聞けると嬉しくなりますね。話を聞いていると何度でも行きたくくなります。



▲摩天崖で牛の行列に遭遇！

摩天崖に行くと、帰りに大量の牛たちに出会いました。この日ははじめて牛に追いかけてられかけて怯えました。目をそらしたらすぐに興味を失ってくれて一安心でした。普段はのんびりしている牛ですが本能を出されるとやはり迫力がありますね…。

地域おこし協力隊活動日誌